

製品名: MARK4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13651**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	83kDa

抗原情報

遺伝子名	MARK4
別名	MARK4; KIAA1860; MARKL1; MAP/microtubule affinity-regulating kinase 4; MAP/microtubule affinity-regulating kinase-like 1
遺伝子 ID	57787.0
SwissProt ID	Q96L34
免疫原	抗血清はヒト MARK4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 461-510

背景

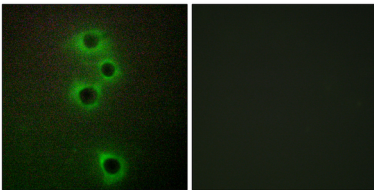
微小管親和性調節キナーゼ 4 (MARK4) ホモサピエンス この遺伝子は、微小管親和性調節キナーゼファミリーのメンバーをコードし

ます。これらのタンパク質キナーゼは、微小管関連タンパク質をリン酸化して、安定な微小管と動的な微小管の間の遷移を制御します。コードされているタンパク質は、有糸分裂を通じて中心体と関連しており、細胞周期制御に関与している可能性があります。この遺伝子の発現は癌の潜在的なマーカーであり、コードされているタンパク質はアルツハイマー病にも関与している可能性があります。この遺伝子の偽遺伝子は、3番染色体の短腕と長腕の両方に位置しています。この遺伝子には、複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2010年12月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。 ,類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。 MARK サブファミリー。 ,類似性:KA1 (キナーゼ関連) ドメインを1つ含む。 ,類似性:タンパク質キナーゼドメインを1つ含む。 ,類似性:UBA ドメインを1つ含む。 ,組織特異性:普遍的。アイソフォーム2は脳特異的。 ,

研究分野

シグナル伝達; 細胞骨格/ECM; 細胞骨格; 微小管; MT 関連タンパク質; MARK

画像データ



MARK4抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。